

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	呉市立昭和北小学校		
学校長氏名	仙田 和子	栄養教諭氏名	村上 綾
職員数	49名	児童・生徒数	710名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校では、食に関する指導の全体計画、年間計画を作成し、学校全体で食育に取り組んでいる。食に関する課題としては、次のようなことが挙げられる。

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣が身に付いていない児童がいる。
- 朝食の内容や量に課題があったり、毎日朝食を食べる習慣が付いていない児童が固定化していたりする。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 「早寝・早起き・朝ごはん」ができている児童：80%以上
- 朝食に赤・緑・黄の3つのグループ食品をそろえて食べている児童：75%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 保体部を中心とした組織的な取組

基本的生活習慣の確立のため、「健康オリンピック」として児童一人一人が校内の健康（運動・保健・食育など）に関する取組のカード類を1年間個人ファイルに綴じてまとめた。それぞれのカードを達成度別に点数化し、学年末の合計点数により、金・銀・銅のメダルシールを配付した。また、金メダルシールの児童には、名札のところにリボンを付け、がんばりの「見える化」を図った。

「早寝・早起き・朝ごはん」の定着に関しては、家庭と連携して取り組む「にこにこチャレンジカード」を年3回(5月, 9月, 2月)行い、1回目の5月には、朝会において教職員による食育劇を通して「早寝・早起き・バランスのよい朝ごはん」の大切さを児童に呼びかけた。



【取組2】（テーマ） 家庭や地域と連携した取組

○JA呉との連携 「モリモリごはんスクール（親子料理教室）」の実施

毎年夏休みに行っている親子料理教室を、今年度はJA呉と連携して行った。JA呉では、協同活動の一環で『食と農』の大切さを伝えるため、地域の学校で「モリモリごはんスクール(親子料理教室)」を開催している。本年度は、本校が協賛校となり、夏休みに2日間実施した。日本型食生活の良さや、主食・主菜・副菜のバランスについて学習した後、JA職員や学校職員も加わり、JA呉に準備していただいた地域食材を使用し、主食・主菜・副菜のそろったバランスメニューを親子で調理し、会食した。メニューの中には、「ひろしま給食」のレシピも取り入れた。この取組については、学校のホームページや食育通信、校内掲示、JAの地域広報誌を通して広く伝えた。



JAの地域広報誌より

○「健康・栄養相談」の実施

健康診断や「にこにこチャレンジカード」などから課題のある児童を把握し、今年度は肥満傾向の児童の保護者を対象に、夏休み前のあゆみ渡しの日に、養護教諭と栄養教諭で健康・栄養相談を実施した。養護教諭は、保健室の来室状況や成長曲線を示し、体力づくりや睡眠などの健康面から指導し、栄養教諭は料理カードや実物などを用いて課題を引き出し、栄養バランスや間食の摂り方などの栄養面から指導した。

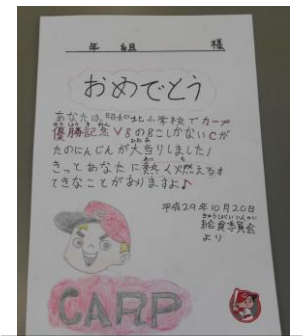
4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○呉市の栄養教諭・学校栄養職員で「ひろしま給食」の調理研究を行い、広島県内の食材を使って、特色ある呉市の統一献立になるよう検討した。また、ひろしま給食100万食プロジェクトに応募した呉市のレシピの中から最優秀賞の「熱く燃えろ!!Cスープ」に合わせるメニューとしての主菜を選び、1月の学校給食週間で呉市の統一献立として給食に取り入れた。



○「熱く燃えろ!!Cスープ」にC型にくりぬいた人参を全校で8個入れ、C型の人参が当たった児童には給食委員会が作成した賞状を渡すとともに写真撮影をし、楽しい給食となるよう工夫した。

○10月～11月の食数カウントの時期と合わせ、作って食べるという実践につなげるために、「食事のおてつだいカード」を実施した。



給食委員会が作成した賞状

○給食だよりや学級掲示用資料を作成・配付し、啓発した。給食放送や給食時間の教室訪問でも家庭で作って食べようと声かけをした。

○夏休みに実施した「モリモリごはんスクール(親子料理教室)」で「ひろしま給食」を献立メニューに取り入れ、家庭や地域に広がるようにした。

5 取組に対する成果と課題

	5月	9月	2月
早寝・早起き・朝ごはんができた児童	87.8%	89.8%	83.8%
朝食に赤・緑・黄の食品をそろえて食べた児童	78.2%	79.3%	76.2%

【成果】

「にこにこチャレンジカード」の結果から、早寝・早起き・朝ごはんができた児童、朝食に赤・緑・黄の食品をそろえて食べた児童は、目標値を上回ることができた。児童の感想や保護者のコメントも好意的なものが多くあった。

【課題】

- ・児童の感想から、「早寝・早起き・朝ごはん」や「赤・緑・黄の食品をそろえて食べること」等の大切さには気付いているが、行動化にまで至っていない児童がいる。
- ・食に関する指導に関して、教職員の意識の差が見られる。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・本校の実態や課題をもとに、食に関する指導の全体計画や年間指導計画の見直しを行う。
- ・食に関する指導の取組や目標を明確にし、全教職員で共通認識のもと取り組む食育を目指す。